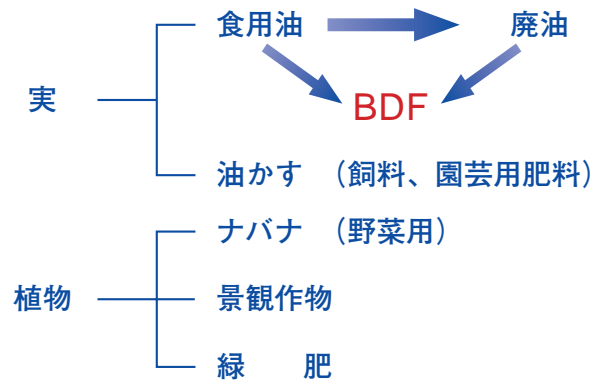


活かそう！ 有用な成分のなたね

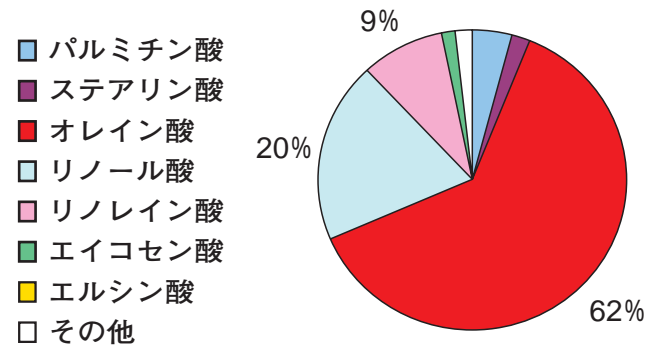


国産なたねの利用

- 国産なたねは、食用油のほか、景観作物としても利用されています。
- 資源循環のため、BDFへの利用をめざします。



- 「菜々みどり」は青森県で、「はるの輝」は岩手県で野菜（なばな）として栽培されている品種です。
- 甘みが強く、外観がよいので、商品性の高い品種です。



なたね油の組成

- 「キラリボシ」など新品種のなたね油は、エルシン酸にかわってオレイン酸が増えています。
- オレイン酸は酸化・劣化しにくく、オリーブ油に豊富に含まれています。



なたね油とその製品

- 国産なたね油は地域特産品として販売されています。
- ジャム、マヨネーズなどにも利用されています。

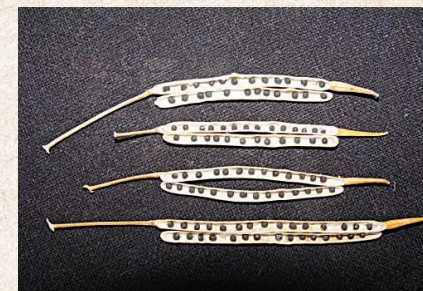
技術的なご相談は

- なたねの品種等：寒冷地特産作物研究チーム (Tel. 019-643-3655)
- バイオマス利用：寒冷地バイオマス研究チーム (Tel. 019-643-3510)

なたねで車を走らせよう！



東北農業研究センターにおけるなたねバイオマス研究



なたねの種子



東北地方にこんな車が走る日も夢ではない

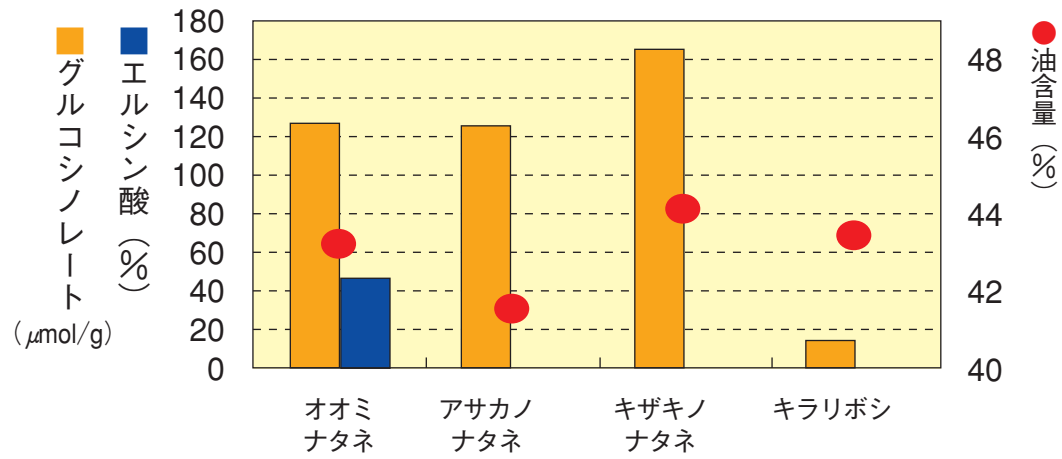
【お問い合わせ先】

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター
 企画管理部 情報広報課 〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 TEL 019-643-3414 FAX 019-643-3588
 e-mail www-tohoku@naro.affrc.go.jp http://tohoku.naro.affrc.go.jp/



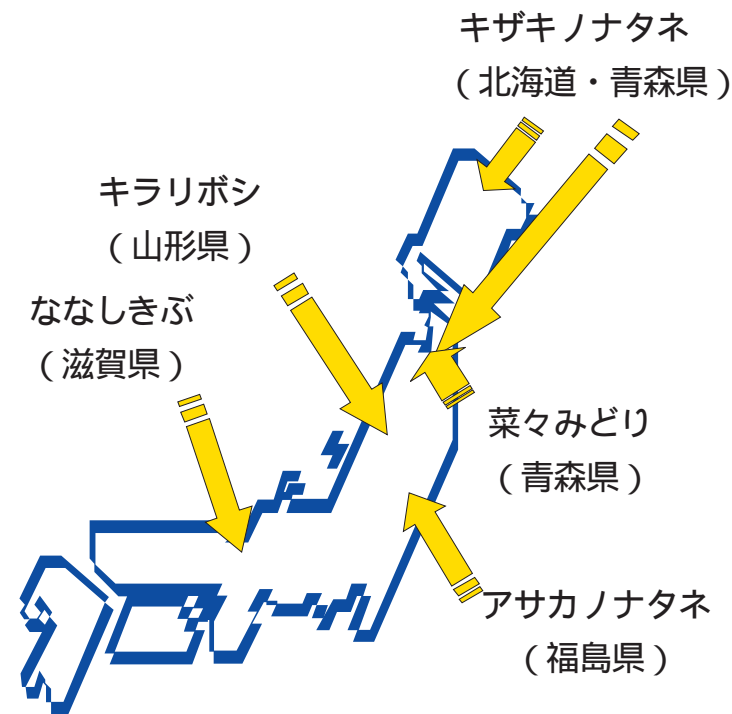
独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
東北農業研究センター

東北農業研究センターが育成した品種は日本国内各地で作られています

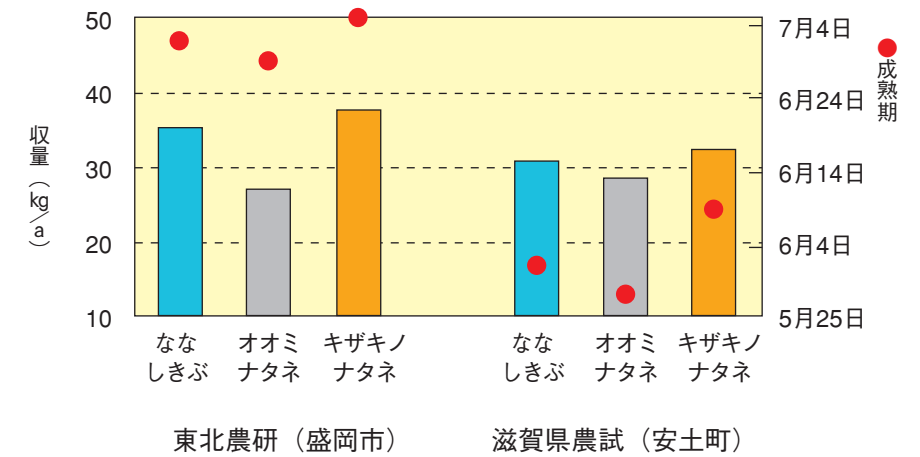


エルシン酸とグルコシノレートを少なくした新品种「キラリボシ」

- エルシン酸は、多量に摂取すると心臓によくありません。
- 油の絞りカスに含まれているグルコシノレートは、飼料として用いたときに、家畜の健康に好ましくない成分です。
- 新品种「キラリボシ」はエルシン酸を含まず、グルコシノレートが少ない品種です。
- 「キザキノナタネ」と「アサカノナタネ」も無エルシン酸品種です。



無エルシン酸ナタネ品種の主な栽培地



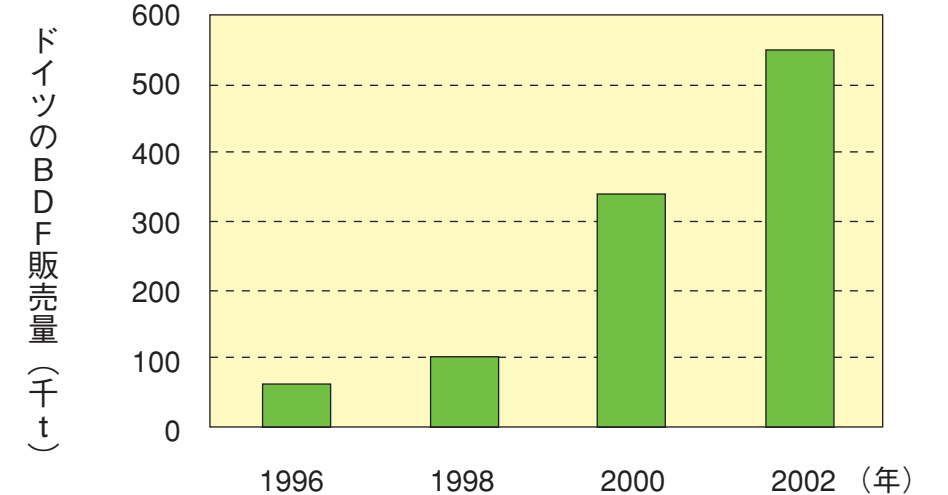
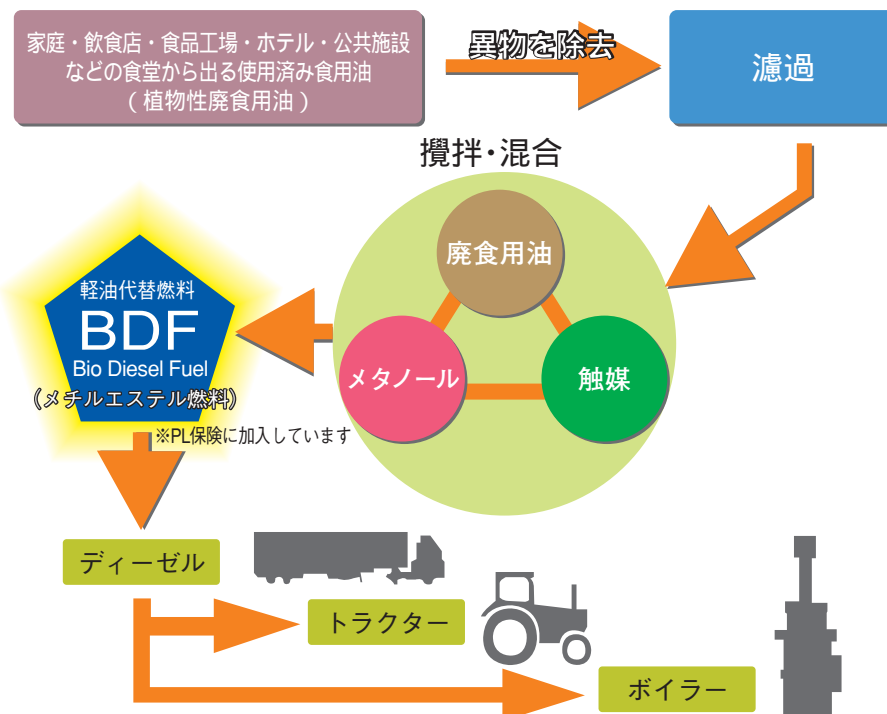
「ななしきぶ」は関東以西の温暖地向けの品種です

- 温暖地向け品種「オオミナタネ」より多収です。
- 成熟期を早めて、温暖地でも無エルシン酸品種の栽培を可能にしました。

ナタネ油を使用してBDFへの利用をめざします

ナタネ油のバイオマス利用

- ナタネ油を原料としてバイオディーゼル燃料 (BDF) を作ることができ、軽油の代替となります。
- ヨーロッパではBDFがガソリンスタンドで販売されています。
- 東北地方でも資源循環・有効利用などの点から、廃食用油を用いてBDFを製造する取り組みが始まっています。



ヨーロッパではBDFの利用が急増

- グラフはドイツにおけるBDF販売量の推移